# NIITAKA 生通信

# ec.2020

# 「洗剤」と「洗浄剤」について

今回は「洗剤」と「洗浄剤」についてお届けします。 洗剤、洗浄剤は正しく使うことで、効率よく汚れを落と すことが出来ます。しかし、間違えた使い方をすると材 質を痛めたり、思わぬ事故に繋がることがあります。 今年もあとわずかとなりました。洗剤、洗浄剤を正しく 使って一年の汚れをきれいに落とし新年を迎えましょう。



## 「洗剤」と「洗浄剤」の種類(液性)

一言に「洗剤」「洗浄剤」と言っても様々な種類(液性)があります。 液性は酸性、弱酸性、中性、弱アルカリ性、アルカリ性の5種類に分類されます。 汚れに応じて適切な製品を選択することが重要になります。

# 中性洗剤

用途:軽い汚れや付着したばかりの汚れ

特徴:中性で材質を痛める心配が少ないため、食器や調理器具はもちろん、

窓ガラスや壁、床の洗浄等、幅広い用途で使用することが可能です。

#### 主な洗浄対象物



食器、調理器具

# 弱アルカリ性・アルカリ性洗浄剤

用途:**時間が経ってしまった油汚れや焦付き汚れ** 

特徴:中性洗剤では落ちない様な汚れや、ガスレンジや換気扇等の頑固な

油汚れを落とすことが出来ます。

#### 主な洗浄対象物





主な洗浄対象物

## 弱酸性・酸性洗浄剤

用途:**尿石や石鹸カス、スケール等の汚れ** 

特徴:酸の力でこびり付いた汚れを溶かしながらきれいにしていきます。

塩素系の洗浄剤とまぜると有毒な塩素ガスが発生するので注意が必要です。 (尿石・水垢)

酸性の汚れには 弱アルカリ性、アルカリ性洗浄剤が効果的!中性洗剤が効果的!

軽度の酸性、アルカリ性の汚れには

弱酸性、酸性洗浄剤が効果的!

例)水垢、スケール、石鹸カス、尿石等

アルカリ性の汚れには

例)油汚れ、手あか、皮脂等

pH 7 (中性)

pH14 (アルカリ性)







#### 洗剤使用上の注意

●まぜて使用しない

塩素系の洗浄剤と酸性タイプの製品をまぜたり同時に使用することにより、有毒な塩素ガスが発生し、大変危険です。

#### まぜると危険な製品

酸性タイプ

まぜるな危険



塩素系

まぜるな危険 塩素系



#### ●専用容器以外に移し替えない

酸性やアルカリ性の洗浄剤をアルミ缶やスチール缶の容器に移し替えると、洗浄剤の成分とアルミニウムやスチールが化学反応をおこし、穴が開いたり、密閉している場合は破裂したりする危険性があります。

専用容器以外への移し替え		<b>危險性</b>
容器の材質	洗剤	7. 映性
アルミニウム	アルカリ性洗剤	洗剤の成分とアルミニウムやスチールとの化学反応により、水素が発生する。 1 蓋などで密封された容器は、破裂する危険がある。 2 密封されていない容器は、容器が溶解し洗剤が漏れ出ることがある。 3 飛び散った、または、漏れ出た洗剤によるやけどの危険がある。
アルミニウム	酸性洗剤	
スチール	酸性洗剤	
塩素系洗剤は専用	容器以外への移し替	えや詰め替えは厳禁

消防技術安全所検証実験等より

製品を使用する前に、製品容器に記載の「使用上の注意」と「使用方法」を必ず読んでから使用 するようにしましょう。

#### 効果的な洗浄方法

冷蔵庫のパッキンの清掃

#### 軽度のカビが発生している場合

- ①固く絞った清潔なダスターでホコリやごみを拭取る
- ②清潔な乾燥したダスターに消毒用アルコール製剤を含ませ拭き上げる

#### パッキンの奥までカビが入り込んでいる場合

- ①固く絞った清潔なダスターでホコリやごみを拭取る
- ②カビ取り剤(塩素系漂白剤)を含ませたペーパーを、カビが生えた部分に張付ける
- ③5~10分程度放置する
- ④清潔なダスターに水を含ませ、しっかりと洗浄剤成分を拭き取る

## ●換気扇の清掃

- ①分解出来る部品は分解をする
- ②油汚れ用洗剤(アルカリ性洗浄剤)を溶かした50℃程度のお湯に浸漬する
- ③30分程度漬け置きする
- ④こすり洗いをする
- ⑤分解できない部分や落ちにくい部分は直接洗浄剤をスプレーしてこする



#### 洗浄する際のポイント

**温度**:浸漬する場合は、<mark>水よりもお湯</mark>の方が洗浄効果が

高くなります。

**時間**:洗浄剤が汚れを分解するには<mark>時間がかかります</mark>。

洗浄剤の効果がしっかり出るまで待ちましょう。

洗浄剤によっては、アルミ製品など使えない材質もあります。

使用上の注意をよく読んでから使用しましょう。

新型コロナウイルス に関する情報はこちら

エイタカホームページに新型コロナウィルスに関するものである。



